

第10回（対面開催）

内部監査の品質改善プログラム：評価実施編 ～ 内部評価者/外部評価者養成のためのトレーニング～

本研修会では、評価者としての知識を習得したい方を対象に外部評価のケース・スタディとグループ・ディスカッションを通じて、評価（内部評価と外部評価）のポイントを理解していただきます。さらに、「基準」への適合性レベルの評価について深く考え、実務に沿った品質評価（内部評価と外部評価）の有効性と効率性を学習していただくことを目的としています。本研修会は、IIAの「品質評価トレーニングコース」と実質同一の教材と『内部監査品質評価ガイド』を使用して講義を行います。ケース・スタディ等は、米国の内部監査環境のものとなりますので、あらかじめご了承ください。

※本研修会では『専門職的实施の国際フレームワーク2017年版』および『内部監査の品質評価マニュアル2017年版』を用いて解説しております。



受講対象

下記の①に加えて、②もしくは③のどちらかに該当される方

- ① 3年以上の管理職レベルの内部監査実務経験者
- ② 「内部監査基準」および「内部監査の専門職的实施の国際基準」を理解している方
- ③ 「内部監査の品質改善プログラム：基礎編」または「内部監査の品質改善プログラム：実践編」のどちらかを修了した方



開催日時

2024年8月20日(火)・21日(水)

両日とも 9:30～18:00 (開場 9:00)

※申込締切：2024年8月13日(火) 16:00まで



開催形式

対面開催形式 ※オンライン配信はございません

会場：(一社)日本内部監査協会 本部5階 [大会議室](#)

〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-11VORT京橋5F



注意事項

※本研修会の修了は、IIA「実施ガイド」および『内部監査品質評価ガイド』に示される外部評価者の適格性要件の1つを満たすものですが、すべての要件を満たすものではありませんのでご注意ください。

※外部評価者の適格性の要件詳細は、「実施ガイド」または『内部監査品質評価ガイド』をご参照ください。

※お申込者には事前にお目通しいただく事前配付資料をお送りいたします。

※開催当日はテキストの他に、教材として『内部監査の品質評価マニュアル2017年版』と『専門職的实施の国際フレームワーク-2017年版-』を配付します。



定員

15名 (申込先着順締切)

※最少催行人員に達しない場合は開催を延期させていただく場合がございます。予めご了承ください。



研修費

正会員／個人会員 ￥77,000-(1名 消費税込)

非会員 ￥88,000-(1名 消費税込)

研修開始日前日までに指定口座にお振込みください。

◆◆◆ 研 修 内 容 ◆◆◆

1日目	<p>UNIT1: 品質評価マニュアルと品質評価プロセスの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 日本における品質評価とは？ <input type="checkbox"/> 専門職的实施の国際フレームワーク(IPPF) <input type="checkbox"/> 品質のアシユアランスと改善のプログラム(QAIP)のフレームワーク <input type="checkbox"/> 『品質評価マニュアル』とプロセス・フロー、ツールの概要 <input type="checkbox"/> 内部監査の品質評価の種類 <p>UNIT2: (品質評価の)計画方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> フル外部評価の範囲、目標および計画ツール <input type="checkbox"/> 「プランニング・ガイド」の主な特徴 <input type="checkbox"/> ケース・スタディの成功事例、改善の機会、および作業の計画 <input type="checkbox"/> サーベイの主な特徴 <input type="checkbox"/> ケース・スタディのサーベイの結果 <p>UNIT3: (品質評価の)実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「インタビュー・ガイド」の主な特徴(主要な実務) <input type="checkbox"/> ケース・スタディ:インタビュー結果 <input type="checkbox"/> 品質評価プログラムとサポートツールの主な特徴 <input type="checkbox"/> ケース・スタディ:品質評価プログラムの結果
2日目	<p>UNIT4: (品質評価の)評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「F-1 所見と改善のための提言ワークシート」の作成 <input type="checkbox"/> 『内部監査の品質評価マニュアル2017年版』の品質評価サマリーのツールと評価基準 <input type="checkbox"/> 一般的な品質評価のシナリオに評価規準を適用 <input type="checkbox"/> 評価規準を使用してケース・スタディの結果を評価 <input type="checkbox"/> 『内部監査の品質評価マニュアル2017年版』の品質評価報告書ツールの主な特徴 <p>UNIT5: 定期的自己評価の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 関連するIPPFのガイダンスの意味するもの <input type="checkbox"/> 一般的な定期的自己評価のシナリオへの、IPPF の実施ガイド(IG)と『内部監査の品質評価マニュアル2017年版』の適用 <p>UNIT6: 外部評価の選択肢</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 関連するIPPFガイダンスの意味するもの <input type="checkbox"/> 外部評価の選択肢および関連する長所、短所、その他の考慮事項 <input type="checkbox"/> 一般的な外部評価のシナリオへの、IPPFの実施ガイド(IG)とあなたのビジネスの洞察の適用 <input type="checkbox"/> 外部評価のための準備方法 <p>研修のまとめ</p>

※適宜休憩をはさみながら講義を行います。途中、1時間の昼食休憩がありますので、各自でご昼食をおとりください。

※研修内容・講師が、やむを得ず変更になる場合は、あしからずご容赦ください。

※講義の進行の都合上、講義時間が前後する場合があります。

※本研修会では『専門職的实施の国際フレームワーク2017年版』および『内部監査の品質評価マニュアル 2017年版』を用いて解説しております。



その他事項

※CPE単位について「18CPE単位」が付与されます。

⇒“CPE単位”とは、CIA、CCSA、CFSAおよびCRMA資格等の継続的専門能力開発制度における認定単位です。CPEを報告される方は、開催後日に配信される「確認メール」を受講証明として3年間保存をお願いします。同じ内容の研修会を複数回受講された場合も、CPE活動単位としてカウントできるのは1度のみとなります。

補足資料ご案内

内部監査の品質評価マニュアル 2017年版

本研修会では、本書籍をテキストの補足資料として使用するため、**本書を当日会場でお渡しいたします。**
各自でお持ちいただく必要はございません。



- 発行：日本内部監査協会
- 判型・ページ数：A4判・394頁
- 付録：CD-ROM（付録AからFを収録）
- 頒布価格：¥13,200-（税込・国内送料サービス）
- 発行日：2019年2月28日

目次

- 第1章 品質のアシュアランスと改善のプログラム
- 第2章 品質のアシュアランスと改善のプログラムの確立
- 第3章 内部評価
- 第4章 フル外部評価
- 第5章 自己評価と独立した外部の検証
参考文献

その他付録詳細などは当協会[ホームページ](#)をご確認ください。

書籍概要

最新版の『内部監査の品質評価マニュアル 2017年版』は、内部監査人協会（The Institute of Internal Auditors：以下、IIA）の「内部監査の専門職的実施の国際基準」（以下、「基準」）の2017年1月1日の改訂を反映したものです。また本マニュアルは、2013年の旧版の発行以降に寄せられた内部監査の実務家による提言も反映し改善しました。

今回の2017年版の改訂にあたり、前回（2013年版）の『内部監査の品質評価マニュアル』を見直しました。2013年版の品質評価プロセスのコンセプト・デザインは創造的で洞察に富み、また品質評価プロセスがもたらす極めて意味のある方法で価値を再確認しました。その結果、今回は専門職としてのガイダンスの改訂に伴う必要な変更、およびこのプロセスをより良くするための内部監査専門家の洞察を取り入れることを意図した改訂にとどめ、コンセプト・デザインおよびフレームワークは変更しないこととしました。

「基準」では、業種、民間企業や公的機関の種別、人員規模などにかかわらず、すべての内部監査部門が品質のアシュアランスと改善のプログラムを構築し、維持することを求めています。日本内部監査協会の「[内部監査品質評価ガイド](#)」（PDF925KB）によれば、当協会の「内部監査基準」やIIAの「基準」に基づく品質評価は、IIAの「内部監査の品質評価マニュアル」または同等なガイダンスとツールに基づき実施すべきとしています。あらゆる企業の組織体の内部監査部門の品質向上に活用していただけるマニュアルです。

当日の会場でのご注意

当日は円滑な運営のため下記の点にご協力ください。
お申込みいただいた時点で、ご了承いただいたものといたします。

- テキストは**参加証と引換え**にお渡しいたしますので、当日は必ず参加証をお持ちください。
- 研修内容・講師が、やむを得ず変更になる場合は、あしからずご容赦ください。
- 講義の進行の都合上、タイムスケジュールが変更になる場合や、講義時間が延長される場合があります。
- 会場内での録画・録音はご遠慮ください。

- 会場での対面形式でご参加される方のマスクのご着用につきましては個人の主体的な選択を尊重し、個人のご判断にお任せいたします。

- スマートフォン等音の出る電子機器の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定をお願いします。なお、会場内での通話をご遠慮ください。
- 当日体調がすぐれない場合は事務局までお申し出ください。

- ご参加いただいた方には後日「修了証メール」を配信いたします。
CPE申告される方は「修了証メール」を受講証明として最低3年間保存をお願いします。
「修了証メール」開催日から1週間以内に配信予定です。
未着の際は online-kenshu@iiajapan.com までメールでご連絡ください。

【ご注意】 IIA及び日本内部監査協会は、本研修会の修了者に対して、特別な修了証書の発行は行っておりません。上記の通り通常の修了証メールを発行いたします。IIA及び日本内部監査協会は、米国・日本で開催する本研修会の修了者やその他の者に対して、品質評価者/検証者の資格認定を付与しておりません。また、本研修会修了者が資格認定などの紛らわしい呼称を用いたり、その旨の説明等を行うことは固くご遠慮いただいております。

以下の記載事項をご了承いただいた方のみお申込みください。
お申込みいただいた時点で、ご了承いただいたものといたします。

- ①お申込みはメールでのみの受付とさせていただきます。
- ②**申込締切 2024年8月13日（火） 16：00**以降のキャンセルは承れません。
恐縮ながら参加費を全額お支払いいただきます。
- ③お申込みを確認次第、参加証・請求証を郵送いたします。
請求書をご確認の上、研修会前日までに指定口座にお振込みください。
- ④個人会員の代理出席については、代理の方ご本人が個人会員でなく、かつ所属企業（組織）が正会員でない場合、研修費の差額を申し受けますので、ご了承願います。

お申込みいただいた後、10日を過ぎても当協会より参加証等が届かない、もしくはキャンセル待ちの連絡もない場合は、お手数ですがご連絡くださいますようお願い申し上げます。

【 個人情報の取扱いについて 】

申込書にご記入いただいた個人情報は、当研修会の運営を推進するために使用することを目的とします。また法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供いたしません。

お申込み方法の詳細は次ページをご確認ください。

下記の必要事項（件名と①～⑫）を記載のうえ、メールにてお申込みください。

【お申込み受付専用メールアドレス】

moushikomi@iiajapan.com

申込メール記載事項

- ① 研修会名：メールの「件名」に研修会名を記入
【研修会名：第10回内部監査の品質改善プログラム：評価実施編】
- ② 会社名／組織名
- ③ 所在地（〒から）
- ④ 電話番号
- ⑤ 部署・役職
- ⑥ 参加者氏名（フリガナ） 「記入例：監査 太郎（カンサ タロウ）」
- ⑦ 監査経験年数「記入例：〇〇年〇〇カ月」
- ⑧ 監査に関する資格を取得している方はご記入ください
「記入例：CIA、内部監査士 など」
- ⑨ 受講者メールアドレス
※ 複数名でお申込みの際はそれぞれの方のメールアドレスをご記入ください
※ メールアドレスのご記入は、お間違えのないようご注意ください
- ⑩ 会員区分：正会員／個人会員：1 名につき 77,000 円（消費税込）
非会員：1 名につき 88,000 円（消費税込）
- ⑪ 請求書の宛名（会社名／個人名）
※上記の項目は請求書の宛名が会社名である正会員の場合、ご記入不要です
※個人会員でお申込みの方は請求書宛名（個人名または会社名）をご記入ください。
- ⑫ 参加証・請求書等の送付先名：部署名（部・課・室）・担当者名
※上記の項目は送付先と参加者が同じ場合、ご記入不要です。